

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
2月18日 6校時 6年少人数 23名	算数	算数 卒業旅行
本時のねらい (1/8)	既習事項を活用して、鶴亀算の仕組みを考える。	
評価規準 【評価方法】	鶴と亀の数の変わり方と足の数の変わり方を、表を用いて関係に着目して考察し、鶴亀算の仕組みを説明することができる。(数学的な考え方)	
展開	学習活動	◇留意事項 ★見取りの視点
問題の提示 (5分)	○バタフライノートを作成する。 ○タイムスケジュールの確認 ○足の数の違いに着目させるために、動物の仲間分け問題に取り組む。	◇ノートの図とタイムスケジュールを提示する。 ◇操作性を重視し、ロイロノートのカードを活用して仲間分け問題に取り組む。
課題の確認 めあての設定 (2分) 問め	○本時の問題を見て、気付いたことを話し合う。 ○話し合ったことからめあてを設定する。 「動物の足の数に注目して問題を解こう」	◇教科書の問題を拡大コピーしておき、学習リーダーがアンダーラインや丸で囲めるようにマーカーを用意しておく。
解決の見通し (3分) 見	○解決に必要な見通しを確認する。 ① 鶴と亀の頭の数や足の数が違いを確認する。 ② 2つの数が伴って変化していくときには、表を作成するとよいことを確認する。	◇ノートの左上を活用する。
自力解決 集団解決 問 (15分)	○自力解決(ノートに) ○集団解決(周囲の友達と相談しながらホワイトボードに) ○学習リーダーを中心に確認する。 ○江戸時代の考え方を読み解く。	◇ノートの左下と右下を活用する。 ★鶴と亀の数の変わり方と足の数の変わり方を、表を用いて関係に着目して考察し、鶴亀算の仕組みを説明することができる。(数学的な考え方)
価値の共有 ま (5分)	○学習のまとめをする。 「頭の数や足の数が違って、表や式に整理することで問題を解くことができる。」	◇ノート右上を活用する。
適用問題に取り組む 問題づくり (15分)	○周囲の友達と相談し、問題提示で活用した仲間分けカードから問題づくりに取り組む。 ○作成できた問題の中から、学習リーダーが問題を選び、クラスで解く。	◇ロイロノートのカードを電子黒板に掲示する。

見通し
ゾーンまとめ
ゾーン

練習ゾーン

①

練習ゾーン

②

<バタフライノート>